

令和2年度事務事業評価シート

所管課	総務部 総務課	NO	90
-----	---------	----	----

(単位：千円)

1 事業名		区政功労者表彰		10 事業費の状況						
2 基本政策		3 地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる		予算状況の内訳			決算状況			
3 政策名		(11) 多様なコミュニティの形成を支援する		年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
4 施策名		①コミュニティ活動に取り組む多様な主体への支援		平成30年度	1,893	0	0	1,893	1,742	92.0%
5 事業説明文		①コミュニティ活動に取り組む多様な主体への支援		令和元年度	1,994	0	0	1,994	1,849	92.7%
		区民の生活と文化の向上に特に功労があった者の事績を称えることにより、受賞者及び団体活動の一層の充実や活性化を図るため、各分野において港区政の功労顕著な方を表彰しています。		令和2年度	2,005	—	—	—	—	—
6 背景、経緯		昭和41年10月20日に「東京都港区表彰規則」を制定し、本事業を開始しました。		財源内訳						
				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他	
				平成30年度	100.0%	1,893	0	0	0	
				令和元年度	100.0%	1,994	0	0	0	
				令和2年度	100.0%	2,005	0	0	0	
7 事業内容		①事業の対象 (1) 公益に関し功労顕著なる者 (2) 教育、文化、衛生、社会福祉その他公共の事業に尽力した者 (3) 公共の事務に精励し功労のある者 (4) 産業の振興に貢献した者 (5) 徳行卓絶又は善行により他の模範となる者 (6) その他区長が特別に功労顕著と認める者 ②実施時期、実施回数 毎年3月15日に実施 ③事務手続の方法 (1) 所管部長が表彰候補者を区長に内申 (2) 港区政功労者表彰審査会で表彰候補者を審査し、被表彰者を決定		11 本事業に係る所管課の意見（一次評価） 1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止 本事業は、区に永年にわたり地道な活動で区政に貢献していただいた区民等に感謝の意を表すものであり、事業の継続は必要です。 また、表彰状とともに区の感謝の意を表す副賞は、贈呈すべきものと考えます。なお、23区では、全ての区が副賞を贈呈しています。 副賞を廃止することは考えていませんが、名誉的な一面を持つため、他者から表彰されたことが見てとれる物や伝統工芸品等で他の施策を生かせる物とするなど、現行の副賞を見直すこととします。 【区政功労者表彰内申基準の具体例】 町会・自治会 : 会長15年以上、副会長20年以上、役員25年以上 消防団 : 団長15年以上、役付団員20年以上、団員25年以上 商店会振興組合等 : 会長15年以上、副会長20年以上、役員25年以上						
8 事業実績・指標				12 事務事業評価における最終評価 1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止 副賞の内容を見直すことで、事業を効率的、効果的に実施することから、「縮小・一部廃止」と評価します。						
指標1	被表彰者数			指標2						
	当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率			
平成30年度		52		平成30年度						
令和元年度		70		令和元年度						
令和2年度		—	—	令和2年度		—	—			
9 基本計画・個別計画・関連する法令等		港区政功労者表彰規則、港区政功労者表彰規則に基づく区政功労者表彰内申基準								

令和2年度事務事業評価シート

所管課	総務部 総務課	NO	91
-----	---------	----	----

(単位：千円)

1 事業名		港区史編さん		10 事業費の状況						
2 基本政策		6 生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する		予算状況の内訳			決算状況			
3 政策名		(27) 豊かで多様な文化に包まれた都市を育む		年度	当初予算額	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
4 施策名		④自然・歴史文化資源の保全・継承・活用の推進		平成30年度	69,202	-82	0	69,120	66,550	96.3%
5 事業説明文		区政70周年を契機に、これまでの港区の歩みを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすい、後世に語り継いでいる港区史を約40年ぶりに編さんします。		令和元年度	86,118	-200	-35,701	50,217	49,240	98.1%
6 背景、経緯		区政70周年を契機として、これまでの区政10周年を記念に昭和35年に刊行した「港区史」、区政30周年を記念に昭和54年に刊行した「新修港区史」を踏まえ、分かりやすく親しみやすい、後世に語り継ぐための港区史を刊行するとともに、来庁しなくても港区の自然・歴史・文化等に気軽に触れることができるよう、WEBにより公開します。		令和2年度	92,233	-	-	-	-	-
7 事業内容		<p>①対象者：区民をはじめとした港区の自然・歴史・文化等を知りたい、学びたい人等</p> <p>②実施時期：令和2年10月 自然編、通史編（原始・古代・中世）、（近世）上下巻、「図説 港区の歴史」の計5巻 発行予定</p> <p>令和4年 3月 通史編（近代）上下巻の計2巻 発行予定</p> <p>令和5年 3月 通史編（現代）上中下巻、資料編1,2の計5巻 発行予定</p> <p>※刊本発行に併せてWEB版を公開予定</p> <p>③事務手続等：刊本の販売のほか、WEBによる公開を行います。</p>		財源内訳						
8 事業実績・指標				年度	一般財源割合	一般財源	国庫支出金	都支出金	その他	
指標1		指標2		平成30年度	100.0%	69,202	0	0	0	
当初予定		実績		令和元年度	100.0%	86,118	0	0	0	
達成率		達成率		令和2年度	100.0%	92,233	0	0	0	
平成30年度		平成30年度		<p>11 本事業に係る所管課の意見（一次評価）</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>区政70周年を契機として、約40年ぶりに港区史の編さんを進めていることから、事業の廃止・統合はできません。しかしながら、当初の刊行時期を延長したことから、経費が増加しているため、経費を精査していきます。</p>						
令和元年度		令和元年度		<p>12 事務事業評価における最終評価</p> <p>1 継続 2 統合 3 縮小・一部廃止 4 廃止</p> <p>区政70周年を契機に開始した事業であり、これまでの港区の歩みを体系的に記録し、分かりやすく親しみやすい、後世に語り継いでいく趣旨は妥当であり、引き続き取組を進めていく必要があることから、「継続」評価とします。経費が増加しているため、引き続き、事業実施方法の効率化等について、精査してください。</p>						
令和2年度	-	令和2年度	-							
9 基本計画・個別計画・関連する法令等		港区基本計画								